

# 数学 東北大学 経済学部 (理系)・理系学部 (前期)

※医学部保健学科看護学専攻は除く

## <全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	6 題
------	-------	-------	-----

解答形式  
記述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (**易化**・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

### 出題の特徴

出題範囲内から万遍なく出題される。

### その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

②は文系学部③と、③は文系学部②とそれぞれ共通の問題。

昨年度無かった、図形を主題とした問題が復活した。図示を要求する問題もあった。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
①	三角比 2次関数	数I	三角形内部の点と各頂点を結ぶ線分の長さの平方和の最小値を求める。	やや易
②	図形と方程式	数II	1つの円と2本の直線の共有点の個数に関する問題。	標準
③	整数 数列	数A 数B	(1) 数学的帰納法を用いて不等式を証明する。 (3) 等式を満たす自然数 $n$ と非負整数 $a, b$ の値を求める。	易
④	確率	数A	玉の取り出しと硬貨投げに関する確率を求める。 (4) 確率を最大にする $n$ の値を求める。	標準
⑤	複素数平面	数III	複素数平面上での軌跡を求める。	標準
⑥	積分	数III	三角関数の定積分に関する漸化式を用いて、積分値が有理数であることを証明する。	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

教科書で基礎・典型の内容をしっかりと固め、その上で、標準～やや難レベルの問題で演習を重ねていきたい。計算量や分析量の多い問題にも積極的に取り組むようにしよう。そうした問題を最後まで丁寧にやりきれぬかどうか合否に関わってくる。